

2018年夏(第9回)「生ビール&鮎まつり」

今年は熱風が吹く...

< 浦佐の夏の風物詩! >

今年も恒例となった第9回 夕涼み「生ビール&鮎まつり」が7月29日 浦佐毘沙門通りを会場に、猛暑な一日でしたが盛大に開催されました。お祭りは次回の10周年を見据え“内容の深化”を図ろうと、芸能ステージや模擬店、軽トラ市、また安全対策など内容の充実をめざしました。

台風12号の通過もあって午前中から気温もぐんぐん上昇し、強い日差しと高温で“出だしの人出は少し鈍り”ましたが、陽のかげの夕刻には気温も少し下がり、テント席や特設ステージの周辺は観客でいっぱいとなりました。

味処では商工会・料飲店組合、そして軽トラ市の皆さんが自慢の料理・商品を提供し、お客様が絶えることはありませんでした。また良質な炭火で“こんがり焼かれた今年の鮎は特にうまい!”と言って下さったお客様も多く、サッポロの“風味爽快”にピツパシと評判でした!! 年々充実する「芸能ステージ」と併せ、暑い浦佐の夏を大いに楽しんでいただけたと思います。

人出は連日の猛暑にもかかわらず多くの人から毘沙門通りを訪れて頂き、参道の「ほの灯り」に導かれ境内を訪れた人も多く、前年に比べやや多い3,750人と集計しました。

7月29日(日曜日) 13:30 ~ 20:30
 葉月みなみショー、模擬店、軽トラ市
 生ビール&炭火焼きの鮎、芸能ステージ
 人出 3,750人 (当日スタッフ105人)

以下、写真で一部を紹介させていただきます



夜のメインは「葉月みなみショー」
越後八色連による「阿波踊り」そして鮎と生ビール!



美味しい鮎と生ビール!!



人気の蠟燭灯り!



すぐに満席状態の客席

ステージはすぐ前にあります



強い日差しが最も似合ったフラダンス



夕暮れから夜にかけて益々賑やかになっていきます



ステージのトリはお馴染みとなった
フォークソングで!